

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ケアステーション県央		公表日		令和7年3月28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	・適切な人数を配置している。 ・帰るまでの短い時間で十分に活動が行えていると思う。	・学校の長期休暇中など利用者の人数によっては、もう少しスタッフが必要と思う事がある。 ・重症度によっては、もう少し欲しい事もあ。だいたい間は合っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	・すべてバリアフリーで車椅子での利用に制限がない。 ・シンプルな作りなので、わかりやすいと思う。	・部屋数がもう少しあると、障害によっては対応しやすい。 ・部屋の名前は漢字が使われており、子どもには理解が難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	・毎日スタッフで清掃を行い、清潔な環境を整えている。	・車椅子でダイナミックに動けるスペースがあったら更に良いと思う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	・個別の部屋を使用する事は少ないが、他の利用者との距離をとり落ち着ける環境になっている。 ・興奮する子は、つい立てなどで落ち着く環境を設定している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	0	・チームカンファレンスを実施し、業務改善のための話し合いを行っている。 ・個別支援計画の振り返りを全職員とカンファレンスに参加し行うことが出来ている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	・保護者向けの評価表を配布し、スタッフ間で共有し業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	・チームカンファレンスや活動後の反省会などで、意見を出し合う場を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	0	・指定の第三者評価は受けていないが、県の監査が入り改善している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	・定期的な研修を行っている。 ・希望した研修に参加する機会がある。 ・虐待防止、衛生管理、各自で研修を受けている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	・チームカンファレンスを実施し、支援プログラムをスタッフ間で共有している。 ・公表もしている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	・保護者からの聞き取り、アセスメント表を用いての発達など各職種が行い実施できている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	・初回契約時の支援計画作成は児童発達支援管理責任者が行うが、その後は全職員でチームカンファレンスで意見を出し合い見直しを行なっている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	・職員間で共有し、計画に沿った支援ができるように努めている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1	・フォーマルなアセスメントは使用していないが、インフォーマルなアセスメントを使用して状況確認している。 ・自閉に対して日々の行動観察からアセスメントしている。	・強度行動障害などに対する標準化されたツールに当てはまる人がいないため活用されていない。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	・今年度より、児童発達支援管理責任者を中心にガイドラインに沿った形式で左記内容を踏まえた計画の導入を進めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	・話し合いを行い、個々に合った関わりを含め立案している。 ・主に保育士、介護福祉士、支援員が立案しその他の職員も含め意見を出し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	・日々の振り返りから上手くいかなかった点の改善や関わり方の工夫をしている。また、その内容を共有して次回行えるようにしている。 ・1～3週間おきに違う内容の活動を提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	・個別と集団の活動を入れた計画を作成し支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	・朝のミーティングで周知されるよう工夫している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	・終礼で反省し、その都度適した活動が提供されていると思う。 ・次の日の活動だけでなく、次回の活動や関わり方の工夫など共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	・日々の記録、利用時の特変など記録を行い、振り返れるようになっている。 ・看護、育生各1名ずつ担当者が看護記録と活動記録をそれぞれ入力している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	・半年に1回見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	12	0	・地域交流は出来ないことがあるが、他はおおむね複数組み合わせている。	・感染症防止対策と並行して、地域交流の機会をもっと多く設ける必要がある。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	0	・活動内で個々の対応を工夫したり、環境設定し自己選択を促している。 ・1つ1つの行動前は声掛けをし、決められる子はその都度本人に決めてもらっている。		
関係機関や保護者	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	・日々、直接介助や活動を行っている児童発達支援管理責任者が会議に参加している。事前に他の職員にも聞き取りをしてから参加している。 ・参加した職員が他の職員に内容を伝達している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	・関係機関とは連絡が取れる体制を整えており、必要に応じて連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0	・送迎時や保護者より情報あり、その都度調整している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	0	・保育所に通っていた子は今の所いないが、いる場合は努めます。 ・サービス担当者会議等で情報共有している。 ・利用していた所からの情報共有はされている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	0	・卒業後も当事業所を利用する場合も学校より情報提供されている。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	0	・三条市に児童発達支援センターは無いが、長岡療育園と連携している。	・今後、児童発達支援センターが開設された場合は密に連携を図る必要がある。	

との連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	12	・春と秋の散策活動時に、近くの保育園の園児や近所の子どもと挨拶を交わしている。	・近くに児童クラブや児童館がなく、事業所としては交流の機会がない。・放デイの利用時間も短く、機会は取れていない。地域の子どもと車椅子を利用した子どもの関わりは少し難しいと思う。 ・散策のみしか地域の交流がない。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	12	・三条市からの参加要請がないため、自立支援協議会へは参加していないが、協議会メンバーが招集する会議には児童発達支援管理責任者が参加し内容を伺う事はある。 ・三条市内放課後等デイサービス事業所連絡会と、三条市子ども・若者総合サポートシステムに所属し関係機関と情報交換したり研修に参加したりしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	・送迎時に保護者と状況を伝え合い、児童の課題などについて共通理解に務めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	・座談会を行い、家族が参加し、話や体験談を伝え情報提供している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	・初回契約時に、施設長と児童発達支援管理責任者より説明を行なっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	・お話できる児童は少なく、保護者中心で機会は設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0	・半年に1回、見直した計画を提示し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	・座談会や送迎時に気軽に相談されている事が多く、利用者様の状態に適した対応がされるように保護者の方と相談員のコミュニケーションが良好に取れていると思う。 ・これまでの勉強会では、卒後の進路、入浴サービス、車椅子や姿勢、オムツサイズ等の助言を行ってきた。 ・学校送迎時間の変更など、相談を受け可能な限り対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	12	0	・座談会を行っている。 ・長岡療育園の行事等で交流の機会を設けている。 ・きょうだい同士の交流の場は特になくと思うが、行事等で関わる機会はあると思う。	・きょうだい同士での交流はできていない。 ・行事の時などに、きょうだいが参加してもらっていたが、コロナ禍以降参加人数の制限などもあり、交流が難しくなっている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	・苦情解決窓口を設けており、意見箱も玄関に置いている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0	・活動の様子を写真を載せた通信を月に1回配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	・1年に1回は全職員が個人情報取り扱いについての勉強会を行ない、取扱いに十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	・利用児本人からの聞き取りは難しいが、気持ちをなるべく汲み取れるよう心掛けている。保護者様から相談等があればすぐに対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	0	12	・地域に向けた行事はないものの、散策などで交流する事はある。	・コロナ禍の前は県央フェスで地域交流を図ったが、まだ復活できておらず、どこまで制限を解除するか悩ましい。 ・地域との密な交流はない。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	・年1回担当職員が実施情報共有している。		
47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	・業務継続計画を策定し、必要な訓練を行なっている。		

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	・変更があった時は報告あり。または、個別支援計画の説明時に報告あり。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	・医師の指示書はもらっていないが、家族の指示のもとお弁当を持参していただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	・遊具や消防の点検は、適宜実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0	・避難訓練に参加していなくてもおたよりで写真を載せて様子を伝えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	・共有し、再発防止に向けて全職員で検討をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	・年1回、県が主催する研修に職員1名が参加し、その内容を全職員に伝達研修している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0	・対象者はいないが、実施時は行っている。 ・必要な方には、計画に記載し3ヶ月に1回見直しを行っている。	